

銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役  
橋本 健一郎

10月のアルミ概況及び11月の見通 (2)

## 予想レンジ

LME現物後場買い 2,400~2,800ドル

スクラップ +5~+10円

(前月最終価格より)

為 替 150~155円

(1か月間TTM)

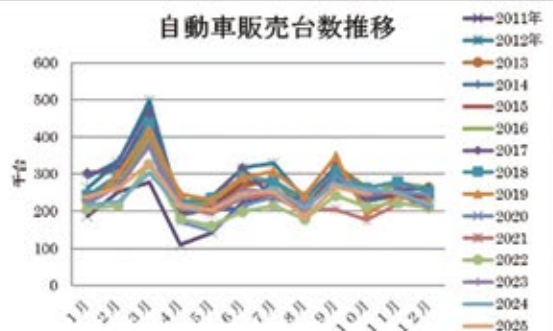
## 国内指標

## ◆自動車販売

日本自動車販売協会連合会によると、10月の自動車販売台数(軽除く)は前年比-4.3%の24万7,883台。

|      | 8月        | 9月        | 10月       |
|------|-----------|-----------|-----------|
| 販売台数 | 18万6,594台 | 26万5,391台 | 24万7,883台 |
| 前年比  | -10.6%    | -3.3%     | -4.3%     |

## 自動車販売台数推移



出典 日本自動車販売協会連合会

## ◆住宅着工戸数

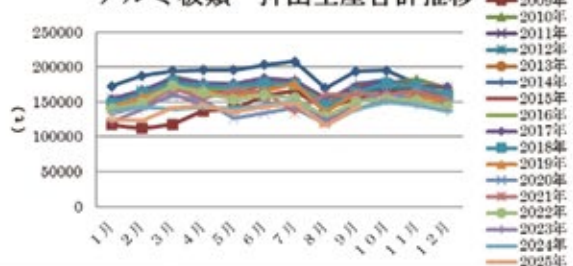
9月の新設住宅着工は、持家、貸家、分譲住宅が減少したため、全体で前年同月比7.3%の減少となった。また、季節調整済年率換算値では前月比2.4%の増加となった。

## ◆アルミ圧延・押出品生産数

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば、板類・押出生産合計は前年比で+0.7%の14万2,126 t。5か月ぶりプラス。

板は生産・出荷ともにプラス。「自動車」及び半導体製造装置向けを含む「その他」はマイナスだったが、「缶材」「はく地」が増加し、内需はプラス。輸出もプラスだった。押出は生産、出荷ともにプラス。トラック・バス向けが好調だった「自動車」が出荷全体を押し上げた。

## アルミ板類・押出生産合計推移



出典 日本アルミニウム協会

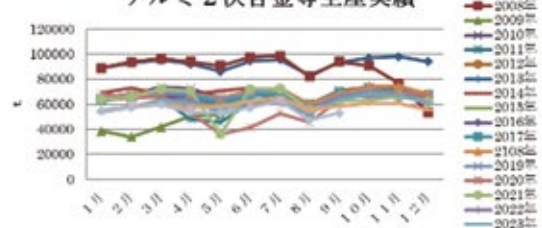
## ◆アルミニウム2次合金・同合金地金等生産実績

前年比 +1.6% 5万9,246 t 8か月ぶりプラス

出 荷 -0.2% 5万8,634 t 14か月連続マイナス

生産は、自動車向け回復などで8か月ぶりにプラス転換。一方で出荷は依然微減となり、需要の持ち直しに時間を要している。

## アルミ2次合金等生産実績



出典 日本アルミニウム合金協会

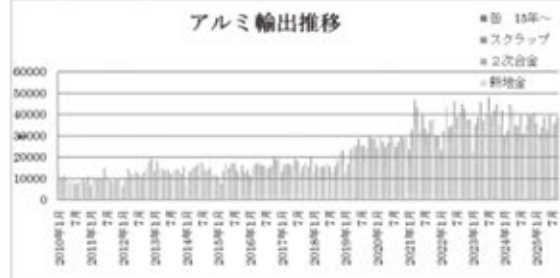
## 貿易指標

## ◆輸 出

|       |         |          |
|-------|---------|----------|
| 新地金   | +115.2% | 454 t    |
| 二次合金  | -65.8%  | 614 t    |
| スクラップ | +32.3%  | 3万1,476t |
| アルミ缶  | -29.1%  | 6,487t   |

| 輸 出   | 7月        | 8月        | 9月        |
|-------|-----------|-----------|-----------|
| 新地金   | 214 t     | 213 t     | 454 t     |
| 前年比   | +71.7%    | +24.6%    | +115.2%   |
| 二次合金  | 820 t     | 653 t     | 614 t     |
| 前年比   | -67.6%    | -60.1%    | -65.8%    |
| スクラップ | 2万8,314 t | 2万9,847 t | 3万1,476 t |
| 前年比   | -5%       | +34.6%    | +32.3%    |
| 缶     | 6,058 t   | 5,551 t   | 6,487 t   |
| 前年比   | -21.3%    | -21.9%    | -29.1%    |

## アルミ輸出推移



出典 財務省貿易統計

(「10月のアルミ概況及び11月の見通し」につづく)